4 オーディオ／ビジュアル

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

オーディオについて

安全にご使用していただくために

運転中は、車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。また、安全のため走行中はテレビ／ DVDなどは映りません。

⚠ 警告

- 音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中の操作は前方不注意となるおそれがあります。車を停止させてから操作してください。

オーディオプレーヤーを上手に使うために

- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はオーディオソフト（CD、DVD、USBメモリ）を取り出し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。
- 走行中に振動が激しいと、音とびすることがあります。
- CDやDVDは専用ケースに入れ、直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けて保管してください。

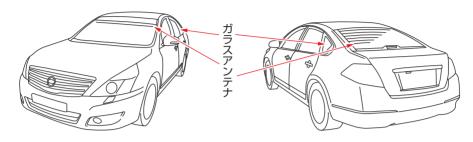
⚠ 注意

- 故障の原因となりますので、CD/DVDおよびUSBメモリ挿入口に異物を入れないでください。

アンテナについて

アンテナの種類は車種により異なります。

ガラスアンテナ

アンテナ線はフロント、サイドまたはリヤウインドーガラスの内側にあります。

※形状は車種により異なります。

アドバイス

- アンテナ線部にミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。

車両の取扱説明書をお読みください。

- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ロッドアンテナ★

ロッドアンテナは以下の方法で取り外しできます。

■ ロッドアンテナの外しかた

1. アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外す

2. 取り付けるときはアンテナの根元を持ち、逆方向に回し、確実に締め付ける

⚠ 注意

- アンテナを脱着するときは、周囲の安全を十分に確認してから行ってください。

アドバイス

- 次のような場合には、必ずアンテナを取り外してください。破損するおそれがあります。
  - 洗車機を使うとき
  - ボディカバーを掛けるとき
  - 降雪時に長時間駐車するとき
  - アンテナが当たるような場所を通るとき

オーディオを操作する

ここではオーディオの共通操作について説明しています。

オーディオをON/OFFする

1 PUSH ON・OFF を押す

スイッチを押すごとにON、OFFが切り替わります。オーディオをONにすると画面にオーディオ情報が表示されます。

● **状態表示画面**

オーディオ情報

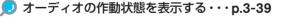
● **地図画面**

オーディオ情報

知識

● 地図画面上へのオーディオ情報の表示／非表示を設定することができます。

オーディオの作動状態を表示する・・・p.3-39

さあ、はじめましょう！
ナビ（目的地・ルートガイド）
ナビ（登録・設定）
オーディオ／ビジュアル
後席操作★
電話・データ通信
情報を見る
詳細機能の設定
ナビ連動機能★
音声操作
地図更新
付録さくいん

音量を調整する

❶ VOL を回す

画面上に音量調整用バーグラフが表示されます。

知識

- ステアリングスイッチの − 🔈 + でも音量の調整をすることができます。
- 音声ガイドが流れているときは、VOL を回してもオーディオの音量は調整されず、音声ガイドの音量が調整されます。
- 音声ガイドを聞きとりやすくするために、音声ガイド中はオーディオの音量が一時的に小さくなります。

早送り／早戻しをする

❶ SEEK ／ TRACK を押し続ける

TRACK：早送りをします。
SEEK：早戻しをします。

選曲をする

❶ SEEK ／ TRACK を押す

TRACK：押すごとに次の曲に変わります。
SEEK：押すごとに前の曲に戻ります。
演奏中に1回押すと、曲の最初に戻ります。
演奏中に2回押すと、前の曲に戻ります。

モード（ソース）を切り替える

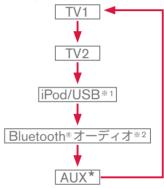
知識

- ステアリングスイッチの SOURCE を押しても切り替えることができます。

TV・外部機器のモード（ソース）を切り替える

1 TV・AUX を押す

テレビまたは外部機器操作画面が表示されます。

TV・AUX を押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

※1 iPod/USBメモリが接続されている場合のみ切り替わります。

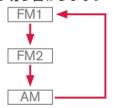
※2 Bluetooth®機器が登録され、接続設定がONのときに切り替わります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

オーディオのモードを切り替える

1 DISC を押す

オーディオ操作画面が表示されます。
DISC を押すごとに、モード（ソース）が切り替わります。

ラジオのソースを切り替える

1 FM・AM を押す

ラジオ操作画面が表示されます。
FM・AM を押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

オーディオの設定をする

1

2 オーディオ

3 項目を選ぶ

以下のオーディオ設定をすることができます。

項目	説明
BASS	低音を調整します。
TREBLE	高音を調整します。
BALANCE	左右の音量バランスを調整します。
FADER	前後の音量バランスを調整します。
車速連動ボリューム★	車速に連動して音量を自動調整する感度を設定します。 効果幅をオフ（0）～5（効果大）の範囲で設定できます。
Driver's Audio Stage★	Driver's Audio Stage★のON/OFFを設定します。 ONにすると運転席専用の音響設定となり、よりクリアで臨場感のある音になります。 ON（点灯）：Driver's Audio Stage★をONにします。 ON（消灯）：Driver's Audio Stage★をOFFにします。
Bose® Centerpoint®★	Bose® Centerpoint®★のON/OFFを設定します。 ONにするとCDやMusic Boxなどのステレオ音源を、より臨場感のある音で再生します。 ON（点灯）：Bose® Centerpoint®★をONにします。 ON（消灯）：Bose® Centerpoint®★をOFFにします。
Bose® AUDIOPILOT™★	Bose® AUDIOPILOT™★のON/OFFを設定します。 ONにすると車内に設置されたマイクで車内全体の音（音楽とノイズ）をリアルタイムにモニターして、ノイズによってマスキングされた音楽成分のみを自動的に補正する機能です。 ON（点灯）：Bose® AUDIOPILOT™★をONにします。 ON（消灯）：Bose® AUDIOPILOT™★をOFFにします。
SRS CS Auto★	Sound Retrieval System® の3DサウンドのON/OFFを設定します。 オフ、シネマ、ミュージックのモードから選択できます。
サラウンド音量★	後方からの音量を調整します。

次ページへつづく▶

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

DivX 機器登録認証番号	DivX の有料ファイルなどのダウンロードサービスを利用する際に必要な機器の登録コードを確認します。
ジャケット写真表示	画像ファイルの表示の ON/OFF を設定します。 （再生中のメディアに画像ファイルがないときには設定をオンにしても表示されません。） ON（点灯）：ジャケット写真表示を ON にします。 ON（消灯）：ジャケット写真表示を OFF にします。

知識

- 車種により、オーディオの設定をインテリジェントキーごとに呼び出すことができます。
- **車速連動ボリュームとは**
  車の速度とともに大きくなる騒音で音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。初期設定はオフになっています。
- Driver's Audio Stage★は、これまでの自然な音源再生に加えて、更なる臨場感と音の広がりを追求した音質モードのことです。「Driver's Audio Stage」をONにすると、まるでライブハウスやジャズバーで、目の前で演奏をしているような音の臨場感を運転席専用に再生します。また、よりクリアで細かい音の再現、より低音の効いた音楽を楽しむことができます。
- Bose® Centerpoint®★は、CDおよびDVDのステレオ音声時に作動します。
- DivX機器登録認証番号は、USBメモリやディスクが接続されていると表示できません。
- **SRS CS Autoとは**
  SRS(●) CS Autoは、SRS Labs. Inc.の商標です。
  CS Auto 技術は、SRS Labs. Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
  Circle Surround デコーダによる車載用に特化したサラウンドシステムです。センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、4 スピーカーのままでも 5.1ch サラウンドに相当する音場を再現できます。ただし、リヤスピーカーを接続している場合（4ch、4.1ch）のみ有効です。

ラジオ

ラジオを聞く

ラジオをONにして、操作画面を表示します。

1 FM・AMを押す

ラジオ操作画面が表示されます。
FM・AMを押すごとにモード(ソース)が切り替わります。

ラジオのモード(ソース)は、プリセットリストの種類に応じて以下のように切り替わります。

プリセットリスト	モード(ソース)	登録局数
手動登録(マニュアルプリセット)	AM	6局
	FM1	
	FM2	
自動登録(オートプリセット)	AM AUTO.P	6局
	FM AUTO.P	

知識

- ラジオの受信は、車両移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最適な受信状態を維持できないことがあります。
- ラジオを聞いているとき、車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ(雑音)が入ることがあります。

ラジオ操作画面

① **現在のオーディオモード**
FM1、FM2、AM、FM AUTO.P、AM AUTO.P、のいずれかが表示されます。

② **現在の放送局名**
現在受信中の放送局名が表示されます。

③ **現在の周波数**
現在受信中の周波数が表示されます。

④ (オートプリセット)
現在地付近で電波の強い放送局を6局まで自動登録します。プリセットリスト切替の設定でAM（AUTO.Pモード）またはFM（AUTO.Pモード）を選ぶと表示されます。

自動で登録する（オートプリセット）・・・p.4-14

⑤ (メニュー)
設定画面が表示されます。

⑥ **プリセットリスト**
放送局名または周波数が表示されます。

登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）・・・p.4-13

⑦ **重複表示**
同じ地域に同一周波数の放送局があるときに表示されます。

⑧ **リスト送りキー**
プリセットリストを1つずつ送ります。

放送局を選ぶ

自動で選局をする

1 SEEK ／ TRACK を押し続ける

自動的に感度の良いチャンネルを受信して表示します。ただし、電波状況によっては、自動選択が難しい場合は、手動で選んでください。

知識

- ステアリングスイッチの ENTER を上下に長く押し続けても放送局を選ぶことができます。

手動で選局をする

1 TUNE / FOLDER を回す

1ステップずつに周波数が変わりますので、聞きたい放送局を選んでください。

知識

- ステアリングスイッチの ENTER を上下に長く押し続けても放送局を選ぶことができます。

登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）

あらかじめ登録された放送局をリストから選局します。

1 PROG AUTO.P を押す

PROG AUTO.P を押すごとにプリセットリストが切り替わります。

・FM
FM1 / FM2 ⟷ FM AUTO.P
・AM
AM ⟷ AM AUTO.P

2 放送局を選ぶ

選択した放送局に設定されます。

知識

- メニュー → プリセットリスト切替 から切り替えることもできます。
- プリセットスイッチ 1 ～ 6 を押しても、プリセットリストに表示された番号の放送局名に切り替えることができます。
- 「重複」と表示されている放送局はその放送局を選択すると、放送局名を切り替えることができます。

放送局を登録する

知識

- 車種により、登録した放送局をインテリジェントキーごとに呼び出すことができます。

手動で登録する（マニュアルプリセット）

プリセットリストに放送局を手動で登録します。FM1、FM2、AMそれぞれに6局まで登録できます。

1 放送局を受信する

2 **を長押しする**

「ピッ」という音がして、登録されます。

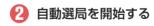
知識

- プリセットリストをタッチし続けても同様に登録することができます。
- FMを登録する場合は、FM・AMを押して登録したいプリセットリスト（FM1またはFM2）を選んでから登録します。

自動で登録する（オートプリセット）

現在地付近で電波の強い放送局を周波数の強い順に6局まで自動で登録します。

1 **を長押しする**

2 自動選局を開始する

「ピッ」という音がしてメッセージが表示されます。登録が終了するとオートプリセットモード（ソース）画面に切り替わります。

知識

- 受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。
- あらかじめモード（ソース）をプリセット（AUTO.P）に切り替えてから、オートプリセットを押し続けても同様に登録することができます。

放送局名の地域を選ぶ

表示する放送局名の地域を手動で選ぶことができます。

  メニュー

 地域選択

3 地域を選ぶ

オート	● ON が点灯すると、自動で地域を選びます。
地域名	● ON が点灯すると、選んだ地域の放送局名を表示します。

交通情報を聞く放送局を設定する

現在聞いている放送局を交通情報として設定します。

  メニュー

 現在の周波数を交通情報に設定

現在の周波数が交通情報に設定され、交通情報を聞くことができます。

交通情報を聞く

交通情報として登録された放送局を受信します。（初期値はAM放送の1620kHzが登録されています。）

2 交通情報を受信する

知識

- ラジオが作動していないときでも ·))) を押すと受信します。
- ·))) を長押ししても同様に登録することができます。

FM多重放送（一般放送）

FM放送局の文字放送を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

❶ メニュー

❷ FM多重放送

❸ 番組情報を選ぶ

情報画面が表示されます。

● FM多重放送画面

番組番号	選択すると番組の情報を表示します。（番組選択できる場合、番組一覧が表示されます。番組一覧は複数ページにわたる場合もあります。）
▲	情報が２ページ以上あるとき、前のページを表示します。
▼	情報が２ページ以上あるとき、次のページを表示します。

知識

- メニュー画面をタッチしても情報画面は表示されません。
- FM多重情報の受信状態によって以下のようなメッセージが表示されます。
  - しばらくお待ちください　：現在受信中の放送局がFM多重放送を送信しているかを確認しています。
  - FM多重情報が受信できません　：現在受信中の放送局がFM多重放送を送信していないか、受信状態が悪い状態です。
  - FM多重情報を受信中です　：FM多重情報を取得できています。
- FMのステレオ音声が良好に受信できれば、FM多重一般放送も受信できる可能性があります。
- いったんFM多重一般放送を受信すると、VICSのFM多重放送を表示するまで時間がかかることがあります。

CD（MP3/WMA/AAC）

CD（コンパクトディスク）について

- 音楽用CDは、以下のマークが入っているものを使用してください。

- コピーコントロールCDは規格に準拠していない特殊ディスクのため、再生できないことがあります。
- CD-R（Compact Disc Recordable）、CD-RW（Compact Disc Rewritable）は、再生できないことがあります。
- 次のようなCDは、故障の原因となりますので使用しないでください。
  - ハート型や八角形などの特殊な形状のCD
  - そったり、傷があるCD
  - 読み取り面が汚れているCD
  - 内外周が荒く処理されたCD
  - 個人でシールやラベルを貼ったCD
  - レーベル面に印刷できるCD

- レンズクリーナーはピックアップ故障の原因となる恐れがありますので使用しないでください。

CDを再生する

ディスクを入れて再生する

1 ディスクを挿入する

ディスクを読み込み自動的に再生が始まります。

※形状は車種により異なります。

アドバイス

- 故障の原因となりますので、挿入口にCDまたはDVD以外の物を入れないでください。
- ディスクを挿入するときは、すでに別のディスクが入っていないことを確認してから挿入してください。

知識

- CDはレーベル面を上にして挿入口に入れてください。
- マルチセッションで書き込んだCDやMP3/WMA/AACディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。（セカンドセッションの音楽ファイルは再生できません。）
- すでにディスクが入っている場合は、CD操作画面が表示されるまで DISC を押してください。

■ ディスクを取り出す

1 ⏏ を押す

ディスクが排出されます。
排出されたディスクをそのままにしておくと、オートリロード機能が働き、ディスクが再び引き込まれます。

※形状は車種により異なります。

知識

- **オートリロード機能とは**
  安全のため、排出されたディスクをそのままにしておいた場合に、再びディスクを引き込む機能です。

操作画面の見かた

CD操作画面

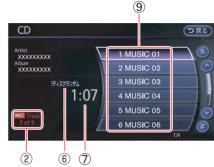
● 曲情報画面

●トラック選択画面

① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／トラック名が表示されます。
テキスト情報が記録されている曲またはGracenoteデータベースで検索された曲を再生しているときに表示されます。

② **録音曲数**
CDの録音中に表示します。

③ (全曲録音)／(録音停止)
CDの全曲録音の開始、または録音中に録音停止をします。

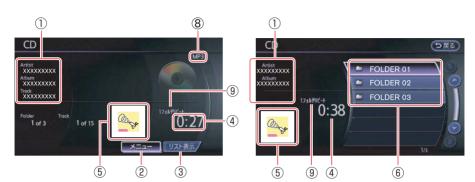
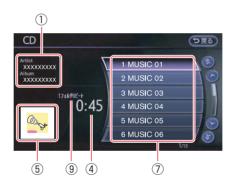
④ (メニュー)
プレイモードの選択やCD録音の設定などをします。

⑤ (リスト表示)
トラック選択画面を表示します。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑦ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑧ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

⑨ **トラックリスト**
トラックリストを表示します。

MP3/WMA/AAC操作画面

● 曲情報画面　　● フォルダ選択画面

●ファイル選択画面

① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／トラック名が表示されます。（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）

② （メニュー）
プレイモードの選択をします。

③ （リスト表示）
フォルダ選択画面またはファイル選択画面を表示します。

④ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑤ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

⑥ **フォルダリスト**
<u>フォルダ選択画面</u>
フォルダのリストを表示します。（リスト表示）を選択すると表示されます。

⑦ **トラックリスト**
<u>ファイル選択画面</u>
ファイルのリストを表示します。フォルダリストを選択して表示されます。またはフォルダが1つの場合、（リスト表示）を選択すると表示されます。

⑧ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットが表示されます。

⑨ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

CD操作画面のリストから選曲する

❷ リスト表示

❸ 聞きたい曲を選ぶ

選択した曲が再生されます。

MP3/WMA/AAC操作画面のフォルダから選曲する

MP3/WMA/AACで記録されているディスクの場合、リストにフォルダが表示されます。（フォルダが1つしかないディスクの場合、フォルダ選択画面は表示されません。）

❶

❷ リスト表示

❸ フォルダを選ぶ

❹ 聞きたい曲を選ぶ

選択した曲が再生されます。

知識

- コントロールパネルの 戻る または、操作画面上の ⮌戻る を選択すると1つ前の画面に戻ります。

CD再生の設定をする

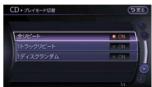
操作画面の メニュー を選択すると、プレイモードや録音などの設定ができます。

プレイモードを切り替える

いろいろなプレイモードでCDを聞くことができます。再生しているディスクによって、表示される項目が変わります。

1

2 プレイモード切替

3 プレイモードを選ぶ

ON が点灯し、プレイモードが設定されます。

下記のプレイモードを設定することができます。

● **CDの場合**

プレイモード	再生方法
全リピート	1枚のCD全曲を曲順に繰り返し再生します。
1トラックリピート	同じ曲を繰り返し再生します。
1ディスクランダム	1枚のCD全曲を自動的に順番を変えて再生します。

● **MP3/WMA/AACの場合**

プレイモード	再生方法
全リピート	1枚のCD全曲を曲順に繰り返し再生します。
1フォルダリピート	1つのフォルダ内の曲を順番に繰り返し再生します。
1トラックリピート	同じ曲を繰り返し再生します。
1ディスクランダム	1枚のCD全曲を自動的に順番を変えて再生します。
1フォルダランダム	1つのフォルダ内の全曲を自動的に順番を変えて再生します。

知識

- PROG AUTO.P を押してもプレイモードを切り替えることができます。

CD録音の設定をする

録音方法や録音品質の設定をすることができます。

知識

- MP3/WMA/AAC形式で音楽ファイルを保存したディスクは、HDDに録音することができません。

■ 曲を選択して録音する

1

2 曲を選択して録音する

3 録音したい曲を選ぶ

4 録音開始

録音を開始して、曲情報画面に戻ります。

知識

- すべて選択／解除 を選択すると、リストにある曲をすべて選択することができます。また、選択を解除することができます。

■ 全曲自動録音する

1

2 全曲自動録音する

ON が点灯し、CDを挿入するとすべての曲を自動録音します。

■ 録音品質の設定をする

1 メニュー

2 録音品質を設定する

3 録音品質を選ぶ

ON が点灯し、録音品質が設定されます。

以下の録音品質を設定することができます。

曲数を優先する（105kbps）	音質を標準にして曲数を多く録音します。
音質を優先する（132kbps）	曲数を少なくして音質を良く録音します。

タイトル取得の優先設定をする

録音の際に付加するタイトル情報およびCD画面で表示するタイトル情報をGracenoteデータベースから取得するか、CDに記録されているテキスト情報から取得するかを設定します。

1 メニュー

2 タイトル取得の設定をする

3 優先設定を選ぶ

ON が点灯し、優先設定が設定されます。

以下のタイトル取得の優先設定を設定することができます。

CDDB	Gracenoteデータベースで検索された曲のタイトルを優先取得します。
CD-TEXT	テキストで記録された曲のタイトルを優先取得します。

知識

- タイトル情報がGracenoteまたはテキスト情報の片方しかない場合は、設定に関わらず存在するタイトル情報を取得します。

ミュージックボックス

ミュージックボックスについて

音楽CDをHDD（ハードディスクドライブ）に録音して様々な方法で再生することができます。また、HDDに収録されているデータベースからアーティスト名、ジャンルなどを自動的に取得し、表示することができます。

プレイリストについて

音楽CDを録音すると、HDDに収録されているデータベースまたはCD-TEXTから取得した情報をもとに、アルバム別やアーティスト別、ジャンル別、フィーリング別に自動的にグループ分けして、プレイリストを作成します。グループ分けされた曲は「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などいろいろな選曲方法で再生することができます。

再生方法を選ぶ・・・p.4-31

MCDB について

ミュージックボックスは「フィーリングモード」（明るい曲、いやされる曲など）に応じた自動選曲用のデータベースとして、MCDBを使用しています。

※ MCDBは、メディアクリック社の登録商標です。

ハードディスクの容量について

録音品質	録音可能曲数	録音可能アルバム数
132kbps時	約2,400曲	約240枚
105kbps時	約3,000曲	約300枚

※ 収録可能曲数は、１曲４分、収録可能アルバム数は１枚10曲で換算した場合の数値です。

知識

- 録音品質の設定により、録音可能曲数は変わります。

録音品質を設定する ・・・p.4-43

- ハードディスクの容量を確認することができます。

ハードディスクの容量情報を確認する・・・p.4-42

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合によりHDDに保存されなかった場合のデータ、及び消失したデータの保障はできません。あらかじめご了承ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- BeatJamを使って、PCからHDDへ音楽データを転送できます。
- 録り直しの効かないCDを録音する場合は、録音後に正しく録音されているか確認してください。
- 高速で録音を行うため、ディスクの状態によっては録音できない場合があります。
- 走行中、悪路などで過大な振動を受けた場合、録音に音飛びなどが発生することがあります。
- 音飛びのあった録音には、(音飛びマーク)が表示されます。
- 音飛びしたときやディスクの状態が悪いときは、無音状態が録音される場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）を検出したトラックの録音は行いません。
- ディスクの傷、汚れなどにより、録音できなかったり、音飛びが発生したり、録音に時間がかかる場合があります。

タイトル自動取得について

HDDに収録されていないタイトルは、以下の方法でGracenoteデータベースから自動取得できます。

- CD録音時にタイトルを自動取得する

  CD録音時にタイトルを自動取得する・・・p.4-44
- FM de TITLEを使って自動取得する

  FM de TITLE受信を設定する・・・p.4-45

知識

- 自動取得されたタイトル情報は、実際のタイトルと異なる場合があります。
- 新作CDなどの場合、タイトル情報が取得できない場合があります。

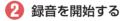
録音をする

知識

- MP3/WMA/AACのファイルは、録音することができません。
- USBメモリからの録音はできません。
- 録音を開始すると約7倍速で録音し、1曲目から再生を始めます。
- 録音中は、「REC」と録音曲数が表示されます。
- 録音中に振動、ディスクの傷や汚れなどにより読み取りエラーが発生した場合、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- はじめからの録音を3回繰り返しても読み取りエラーが発生した場合は、そのまま録音が継続され音飛びのあったことを示す (音飛びマーク)が表示されます。
- CD以外のモード（ソース）に切り替えても、録音は継続されますが、以下の場合は録音を停止します。
  - オーディオをOFFにしたとき
  - CDを取り出したとき
  - HDDの容量がいっぱいになったとき

自動で録音する

1 CDを挿入する

2 録音を開始する

自動的にCD画面に切り替わり、録音を開始します。（オーディオモード時）

※形状は車種により異なります。

知識

- 録音が完了すると録音終了のメッセージが表示され、自動的に録音を停止します。
- 自動で録音するには、全曲自動録音するの設定がONになっている必要があります。初期設定は、全曲自動録音するの設定がONになっています。

自動録音の設定をする･･･p.4-42

- CDデータをHDDに録音（リッピング）しているとき、CDの回転音が大きくなりますが、故障ではありません。

曲を選択して録音する

1 CDを挿入する

2

3 曲を選択して録音する

※形状は車種により異なります。

4 録音する曲を選ぶ

 録音開始

知識

- 録音が完了すると録音終了のメッセージが表示され、自動的に録音を停止します。
- 手動で録音するには、（全曲自動録音する）の設定がOFFになっている必要があります。ONの場合でも、一度録音を停止すれば手動録音が可能です。

自動録音の設定をする･･･p.4-42

録音を停止する

録音を途中で停止することができます。

1 録音停止

録音終了のメッセージが表示され、録音が停止します。

知識

- 録音を停止すると、録音中の曲は保存されません。再度、録音を開始すると、現在再生中の曲から開始します。

ミュージックボックスを再生する

ミュージックボックス操作画面

● 曲情報画面

● リスト選択画面

① **再生方法**
再生方法を表示します。

② **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／トラック名が表示されます。（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）

③ （Playlist追加）
再生中の音楽ファイルをプレイリストに追加します。

④ （メニュー）
プレイモードの選択をします。

⑤ （リスト表示）
アルバム選択画面またはトラック選択画面を表示します。

⑥ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑦ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

⑧ **リスト**
アルバムリストまたはトラックリストを表示します。

■ リストから再生する

❶ （リスト表示）

❷ アルバム名を選ぶ

❸ 曲を選ぶ

選択した曲が再生されます。

ミュージックボックスの再生を設定する

■ 全曲再生で再生順を変える

❶

❷

❸ 再生順を選ぶ

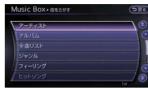
以下の再生順を設定することができます。

録音日順で再生	録音日時順に全曲を再生します。
アルバム順で再生	アルバム順に全曲を再生します。
アーティスト順で再生	アーティスト順に全曲を再生します。
曲名順で再生	曲名順に全曲を再生します。
発売日順で再生	発売時期の早い順に全曲を再生します。
Music Navigator	走行シーンにマッチした曲を再生します。Navigator登場頻度がONの場合は、ランダムにシチュエーションにマッチしたDJのセリフが、曲と曲の間に入ります。

知識

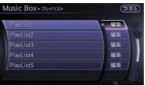
- 自動再生中でも走行時の状況にあった曲が再生されない場合があります。

■ 再生方法を選ぶ

アーティスト、アルバム、ジャンルなどいろいろな方法で選曲して再生することができます。再生単位は、アルバム単位になります。

以下の再生方法を選択することができます。

アーティスト	アーティストを選んで再生します。
アルバム	アルバムを選んで再生します。
全曲リスト	録音されているすべての曲から選曲できます。
ジャンル	ジャンルを指定して選曲できます。
フィーリング	明るい曲、いやされる曲、せつない曲、ノリノリな曲の一覧から選曲できます。
ヒットソング	過去にヒットした曲や今ヒットしている曲を選曲できます。
子供向けの曲	童謡や子守歌、子供の歌番組で紹介された曲などを選曲できます。
よく聴く曲	よく聴く曲から順番に再生します。
再生が少ない曲	再生回数の少ない曲を順番に再生します。

■ プレイリストを再生・編集する

お客さま自身で作成したプレイリストを再生します。また、お好みの曲をプレイリストに追加したり、プレイリストの順番変更や、名称の編集をすることができます。

プレイリストは、以下の項目を設定することができます。

項目	内容
現在の再生曲をプレイリストに追加する	現在再生している曲をプレイリストに追加します。
アルバムを選んでプレイリストに追加する	ミュージックボックスに録音されているアルバムから曲を選んで、プレイリストに追加します。
アーティストを選んでプレイリストに追加する	ミュージックボックスに録音されているアーティストの曲を選んで、プレイリストに追加します。
プレイリストの曲の順番を編集する	作成したプレイリストの曲順を変更します。
プレイリスト名称の編集する	作成したプレイリストの名称を変更します。
プレイリストから曲を消去する	プレイリストにある曲を選んで消去します。

プレイモードを切り替える

再生方法により選べるプレイモードが異なります。

1

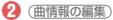
2

3 プレイモードを選ぶ

ON が設定し、プレイモードが設定されます。

全リピート	全曲を繰り返し再生します。
1アルバムリピート	1アルバムを繰り返し再生します。
1トラックリピート	同じ曲を繰り返し再生します。
1アルバムランダム 1アーティストランダム	1アルバムまたは1アーティスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。
全トラックランダム	全曲を自動的に順番を変えて再生します。
1グループランダム 1ジャンルランダム 1プレイリストランダム	1グループまたは1ジャンルまたは1プレイリスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。

曲情報を編集する

現在演奏中の曲やアルバムの情報を編集することができます。また録音した音楽CDのタイトル情報が異なっているときや情報を取得できなかった場合、タイトル情報を取得することができます。

3 項目を選ぶ

演奏中の曲やアルバムの情報を編集する場合は、以下の設定をすることができます。

現在演奏中の曲情報を編集	演奏中の曲情報を編集することができます。 **現在演奏中の曲情報を編集する･･･p.4-35**
アルバム情報の編集	アルバム情報を編集することができます。 **アルバム情報を編集する･･･p.4-35**

タイトル情報を取得する場合は、以下の設定をすることができます。

USBからCDDBを更新	USBメモリを使い、パソコンからダウンロードしたタイトル情報をハードディスクに転送し、CDDBを更新します。 **USBメモリを使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-38**
USBメモリに未取得データを転送	USBメモリに未取得データを転送して、パソコンでインターネットのGracenoteデータベースからタイトル情報を取得します。 **USBメモリを使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-38**
センターに接続して未取得タイトルを取得	インターネットのGracenoteデータベースに接続して、携帯電話でタイトル情報を取得します。 **携帯電話を使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-37**
ハードディスクから未取得タイトルを取得	HDDのデータベースからタイトル情報を取得します。 **手動でハードディスクからタイトル情報を取得する･･･p.4-40**

演奏中の曲やアルバムの情報を編集する

■ 現在演奏中の曲情報を編集する

❶ 現在演奏中の曲情報を編集 ❷ 項目を選ぶ

曲名	曲名を編集することができます。
曲名ヨミ	曲名の読みを編集することができます。
アーティスト名	アーティスト名を編集することができます。
アーティスト名ヨミ	アーティスト名の読みを編集することができます。
ジャンル	演奏中の曲のジャンルを設定します。
フィーリング	演奏中の曲のフィーリングを設定します。

■ アルバム情報を編集する

❶ アルバム情報の編集 ❷ アルバムを選ぶ ❸ 項目を選ぶ

アルバム名	アルバム名を編集することができます。
アルバム名ヨミ	アルバム名の読みを編集することができます。
曲名を編集	アルバム内の曲情報を編集することができます。 現在演奏中の曲情報を編集する･･･p.4-35

タイトル情報を取得する

音楽CDを挿入して録音を開始すると、録音される音楽CD内にあるタイトル情報を元に本機のHDDにある25万曲のタイトル情報データベースから同じタイトルを検索し、タイトル情報と音楽データを結びつけてHDDに格納されます。

タイトル情報とは

取得できるタイトル情報は以下になります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトル読み
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティスト読み
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトル読み
- トラックのアーティスト
- トラックのアーティスト読み
- トラックのジャンル

タイトル情報を取得するには

■ 本機のハードディスク内にタイトル情報データがある場合

本機に音楽CDを挿入すると、自動的にHDDへの録音が開始します。同時にHDD内に収録されているタイトル情報データベースから音楽CD内のタイトル情報を検索します。検索が終了すると、曲情報画面にタイトル情報が表示されます。

■ 本機のハードディスク内にタイトル情報データがなかった場合

タイトル情報データベースからの検索が終了した後に、タイトル情報が表示されない場合は、以下の3つの方法でタイトル情報を取得できます。

- 一番かんたんにタイトル情報を取得できます。

  携帯電話を使用してタイトル情報を取得する･･･ p.4-37

- パソコンの使いかたに詳しい方にお勧めです。

  USB メモリを使用してタイトル情報を取得する･･･ p.4-38

- 全国地図更新を行った後に、ご使用していただくと便利です。

  手動でハードディスクからタイトル情報を取得する･･･ p.4-40

携帯電話を使用してタイトル情報を取得する

HDDに収録されているタイトル情報データベースでタイトル情報を取得できなかった場合、携帯電話を使用して、インターネットに接続し、タイトル情報を取得できます。取得方法は、インターネットに「自動的に接続する」か「手動で接続する」の2つの方法があります。

自動的にインターネットに接続する場合

CD録音時にタイトルを自動取得する･･･p.4-44

データを取得するには、はじめに本機と携帯電話を接続する必要があります。

携帯電話を接続する･･･p.6-6

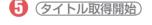
携帯電話を接続した後、以下の操作を行ってください。

1

2

3

4 アルバムまたは録音日を選ぶ

5

タイトル取得を開始します。

画面に「設定しました」のメッセージが表示されましたら、タイトル情報の取得が完了です。

知識

- データ通信が開始すると、携帯電話の通信料金がかかります。
- データ通信中は、本機と携帯電話の接続を解除しないでください。

USB メモリを使用してタイトル情報を取得する

未取得のタイトル情報を本機に接続したUSBメモリに転送し、お持ちのパソコンを使用してインターネットに接続し、タイトル情報を取得します。

■ 使用するUSB メモリについて

本機にはUSBメモリが装備に含まれておりませんので、お客さまご自身でご用意ください。
ご使用できるUSBメモリの条件は以下になります。この条件に当てはまらないUSBメモリをご使用した場合、正しく動作しないことがあります。

- High Speed対応メモリ
- ファイルシステム：FAT16、FAT32
- 最大メモリサイズ：4GB
- セクタサイズ：512B
- クラスタサイズ：1KB～32KB
- 最低空き容量：10MB以上
- パーテーション：単一パーテーション

■ タイトル情報取得の流れ

1 タイトル情報を取得する前の準備

お持ちのパソコンで使用する専用アプリケーション「タイトル情報リサーチ」が必要です。専用サイトから「マニュアル」と「アプリケーション」をダウンロードしてください。
タイトル情報サーチ専用サイト：
http://drive.nissan-carwings.com/TITLE_SEARCH/index.htm
詳しくは専用サイトをご覧ください。
※Webサイトのアドレスは都合により、変更させていただく場合があります。

タイトル情報サーチマニュアル

タイトル情報サーチアプリケーション画面

2 本機からUSBメモリに未取得データを転送する

USBメモリの接続位置は、車種により設置場所が異なります。

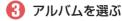
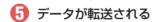
USBメモリの接続位置･･･p.12-31

1 USBメモリを接続する

2

3

4

5 データが転送される

「保存しました」とメッセージが表示されたら、USBメモリへの転送は完了です。USBメモリ内に“export.dat”というファイルができます。

3 USBメモリをパソコンに接続する

未取得データ（export.dat）を取り込んだUSBメモリをお持ちのパソコンに接続します。

専用アプリケーション「タイトル情報サーチ」をインターネットからデータを取得します。詳しい操作方法については、専用サイトのマニュアルをご覧ください。

4 USBメモリからタイトル情報を更新する

タイトル情報を取り込んだUSB メモリを本機に接続し、HDD 内の音楽データベースを更新します。

USBメモリの接続位置は、車種により設置場所が異なります。

USBメモリの接続位置･･･p.12-31

次ページへつづく▶

さあ、はじめましょう！
ナビ（目的地・ルートガイド）
ナビ（登録・設定）
オーディオ／ビジュアル
後席操作★
電話・データ通信
情報を見る
詳細機能の設定
ナビ連動機能★
音声操作
地図更新
付録 さくいん

❶ USBメモリを接続する ❷ USBからCDDBを更新 ❸ データが転送される

❹ データベースが更新される

「USBから読み出しが完了しました」とメッセージが表示されたら、タイトル情報の取得は完了です。

アドバイス

- データの転送が完全に終了するまで、USB メモリをコネクタから抜かないでください。

手動でハードディスクからタイトル情報を取得する

全地図更新を行うと、HDD 内のタイトル情報データベースも新しく更新されます。全地図更新を行った後に、この機能をご使用いただくと便利です。

❶ メニュー ❷ 曲情報の編集 ❸ ハードディスクから未取得タイトルを取得

❹ アルバムまたは録音日を選ぶ ❺ タイトル取得開始

HDDのデータベースからタイトル情報の取得を開始します。

ミュージックボックスの設定をする

HDDへの録音設定の変更やHDDに録音した音楽ファイルの初期化をすることができます。

 メニュー　❷ Music Box設定　❸ 項目を選ぶ

ミュージックボックスは、以下の設定をすることができます。

項目	説明
ハードディスクの空き容量を表示する	ミュージックボックス容量情報が表示されます。HDD容量が少ないときは、不要な曲を消去して容量を増やすことができます。 **ハードディスクの容量情報を確認する・・・p.4-42**
フィーリングモードの情報を表示する	登録されているフィーリングモードの情報を表示します。
全曲自動録音する	CDを入れたときの自動録音／手動録音の設定をします。 **自動録音の設定をする・・・p.4-42**
音楽を消去する	録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。 **音楽ファイルを消去する・・・p.4-43**
録音品質を設定する	録音音質を設定します。 **録音品質を設定する・・・p.4-43**
録音時のCDDB自動オンライン設定	HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。 **CD録音時にタイトルを自動取得する・・・p.4-44**
Navigator登場頻度	数曲に1回、ランダムにシチュエーションに応じたDJのセリフが入ります。 **Navigator登場頻度を設定する・・・p.4-44**
CDDBのバージョンを表示する	Gracenoteデータベースのバージョンを表示します。 **Gracenoteデータベースのバージョンを確認する・・・p.4-44**

■ ハードディスクの容量情報を確認する

HDDに録音した曲数やアルバム数、残り録音可能時間を確認することができます。

1 ハードディスクの空き容量を表示する

2 情報を確認する

ミュージックボックス容量情報が表示されます。

知識

- HDD容量が少ないときは、不要な曲を消去して容量を増やすことができます。

音楽ファイルを消去する･･･p.4-43

■ フィーリングモードの情報を表示する

各フィーリングのトラック数と割合をグラフで表示します。

1 フィーリングモードの情報を表示する

2 情報を確認する

フィーリングモード情報が表示されます。

■ 自動録音の設定をする

CDを挿入したときに自動的に録音を開始する「自動録音」と、再生しているときに録音を開始する「手動録音」を切り替えることができます。

録音をする･･･p.4-27

1 全曲自動録音する

ON が点灯し、CD全曲の自動録音をします。

知識

- 初期設定は、全曲自動録音する がONに設定されています。

■ 音楽ファイルを消去する

録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。

❶ 音楽を消去する　❷ 消去方法を選ぶ　

音楽ファイルは、以下の方法で消去することができます。

現在の曲を消去する	現在演奏中の曲を消去します。
アルバムから選んで消去する	アルバムを消去します。また、アルバム内の曲を選択して消去することもできます。
全曲消去する	ミュージックボックス内のすべての曲を消去します。

知識

- 消去したアルバムや曲は元に戻すことはできません。消去する場合は、十分注意して行ってください。

■ 録音品質を設定する

録音品質を変更することができます。

❶ 録音品質を設定する　

ON が点灯し、録音品質が設定されます。

以下の録音品質を設定することができます。

曲数を優先する（105kbps）	音質を標準にして曲数を多く録音します。
音質を優先する（132kbps）	曲数を少なくして音質を良く録音します。

知識

- 初期設定は、132kbpsに設定されています。

■ CD録音時にタイトルを自動取得する

HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。
インターネットからタイトル情報を取得するには、携帯電話の接続が必要です。

携帯電話を接続する･･･p.6-6

1 録音時のCDDB自動オンライン設定

ONが点灯し、録音時に自動的にインターネットに接続し、タイトル情報を取得します。

知識

- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、携帯電話の設定や接続をする必要があります。
- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ料金が別途請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。

■ Navigator登場頻度を設定する

再生順を「自動再生」にしているときのみ、数曲に1回、演奏中の曲に対して走行時の季節・時間帯などシチュエーションに応じた3人のDJのセリフが曲間にランダムに入ります。

1 Navigator登場頻度

ONが点灯し、DJの自動再生になります。

■ Gracenoteデータベースのバージョンを確認する

知識

- USBメモリを接続して、Gracenoteデータベースのバージョンを更新することができます。

FM de TITLE受信を設定する

FM de TITLEは、FM多重放送を利用して送られてくるタイトルを自動受信し、HDDに収録されているデータベースを更新するシステムです。本機ではFM de TITLE受信のON/OFFを設定できます。

2 VICS交通情報

3 VICS FM多重情報

4 FM de TITLE受信設定

ONが点灯し、FM de TITLEの受信が設定されます。

パソコンから音楽ファイルを転送する／音楽ファイルのバックアップをする

同梱のアプリケーションソフト「BeatJam」を使って、パソコンから本機に音楽ファイルを転送したり、本機からパソコンに録音した音楽ファイルをバックアップすることができます。転送およびバックアップ方法の詳細は、パソコンにインストールしたBeatJamのヘルプ内にある「BeatJamの使いかた」をご覧ください。

注意

- **BeatJamの操作は、安全のため必ず車を停止させて行ってください。**
- 本機とパソコンの接続は、必ず本機を再起動させてから行ってください。
- ファイル転送中は、エンジンを切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- 操作手順を守らないで接続した場合、パソコンが故障することがあります。
- ファイル転送中はカメラシステムを使うことができません。

BeatJam について

BeatJamは、（株）ジャストシステムが開発したデジタルオーディオプレーヤーソフトです。

■ BeatJamから転送した音楽ファイルを使うときには

本機で利用できる音楽ファイルは、録音・変換されたATRAC3、ATRAC3 Plus、WMA、MP3およびAAC形式です。また、ミュージックボックスの機能を有効に使用するために、必ず曲情報を取得してください。ただしGracenoteデータベースにない曲の情報は取得できません。曲情報の取得がない音楽ファイルは「フィーリング再生」をすることができません。

■ 著作権制限について

BeatJamは音楽コンテンツの著作権保護のために、音楽ファイルの使用に制限を設けています。

BeatJamに取り込んだ音楽ファイルに再生期間や再生回数の利用条件がある場合は、利用条件に沿った操作しかできません。

知識

- 「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「ATRAC」は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護のあるWMAファイルおよびAACファイルは、本機では再生できません。

お持ちのパソコンを車に接続する前に、本機で以下の操作が必要です。

❶ メニュー

❷ 新譜情報

❸ BeatJam

❹ はい

❺ 本機を再起動する

❻ パソコンを接続する

本機へのデータ転送が終了したら、メッセージを確認して画面をタッチしてください。本機が再起動し、転送したファイルが更新されます。

アドバイス

- データ更新中にエンジンを切ると、データが正しく更新されません。その場合、再度エンジンをかけた時に自動的にミュージックボックスのデータを修復します。このデータ修復処理には数十分かかることがあります。ミュージックボックスの画面には「しばらくお待ちください。この操作には時間がかかる場合があります…」と表示されます。

知識

- USB2.0対応のパソコンをご使用ください。
- USBケーブルは、装備に含まれておりません。お客様がご自身でご用意くださるか、販売店にて別売のBeatJam接続用ケーブルをお買い求めください。
- 接続には、別売のBeatJam接続用ケーブルをお使いになることを推奨いたします。ただしBeatJam 接続用ケーブルは、本機専用品ですので、他の用途にお使いになることはできません。
- 音楽ファイルの転送について
  - 最大転送曲数･･･65,535曲
    （※ただし、この曲数に達していなくてもハードディスクの空き容量がなくなった場合は転送ができなくなります。）
  - 最大転送プレイリスト･･･5つまで（1つのプレイリストに含むことのできる最大曲数は999曲）
- BeatJamに転送した音楽ファイルは本機には残りません。
- BeatJamに転送した音楽ファイルは、再び本機に戻すことができます。

データベースについて

音楽CDを再生または録音すると、HDD内に収録されているデータベースからアルバム名、アーティスト名、曲名、ジャンル名などを自動的に検索し、表示します。また、HDDに情報がない場合は、携帯電話またはUSBメモリを用いてインターネットのGracenoteデータベースから情報を取得することができます。

HDDに収録されているデータベースは、Gracenoteデータベースを使用しています。

知識

- 新作CDなど、HDDに情報がない場合は、表示されません。その場合は、携帯電話またはUSBメモリを用いてインターネットのGracenoteデータベースから取得することができます。

USB メモリを使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-38

携帯電話を使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-37

- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ利用料金が請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。
- au WINをケーブル接続でご使用の場合には、機種によってUSB接続設定がありますので「データ転送モード」または「Packet WINモデムモード」に設定してください。(設定方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- 情報のデータ量や電波状況によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 情報の取得が終了すると、電話回線は自動的に切断されます。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。詳しくは日産販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジー及び関連データは、Gracenote®により提供されます。
Gracenoteは、音楽認識テクノロジー及び関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com

この製品及びサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、及びその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。
Gracenote及びCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate

USBメモリ

USBメモリに収録された音楽ファイル、映像データ、写真データを再生することができます。(映像ファイルは、DivX、MPEG4(ASF)フォーマット、写真データはJPEGフォーマット、音楽ファイルは、MP3、WMA、MPEG4-AACフォーマットによって作成されたデータを再生することができます)

注意

- 静電気や電気的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所にUSBメモリを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 安全のため走行中は映像や写真は表示されません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。

アドバイス

- お客様が編集・収録されるDivXフォーマット映像に
  - **視聴回数制限がある場合**
    本機で視聴可能にするには、事前にユーザーアカウントを取得し、本機を再生機器として登録することが必要です。視聴回数制限がかかったDivXファイルをUSBメモリとディスクの両方に保存して、ディスクの挿入およびUSBメモリの接続を行わないでください。視聴回数制限のカウントが正常に行われない場合があります。
  - **視聴回数制限がない(フリーの)場合**
    そのまま本機で視聴できます。

USBについて

- USBメモリは装備に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。
- ご使用に際しては、USBメモリが正しく接続されていることをご確認ください。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- USBメモリには一部対応していない機種があります。
- 使用できるUSBメモリ
  - 規格 : USB2.0
  - ファイルシステム : FAT16、FAT32
  - 最大メモリサイズ : 64GB
  - セクタサイズ : 512B
- クラスタサイズ : 32kB以下
- 複数のパーテーションに分かれているUSB機器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。

・ データ収録の制限について
- 最大ファイル数：5000
- 最大フォルダー数：255
- 最大フォルダー階層：8
- 1ファイルあたりの最大ファイルサイズ：2GB
- ファイル名の最大長：100B（拡張子を含めて日本語で最大47文字相当）

USBメモリの音楽または映像データを再生する

USBメモリの接続位置は、車種により設置場所が異なります。

USBメモリの接続位置・・・p.12-31

❶ USBメモリを接続する

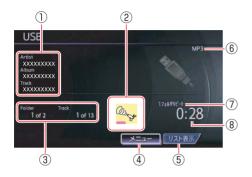
USBメモリを車両側のUSBコネクタに接続します。
USBメモリ操作画面が表示されます。

知識

● 複数のファイルがある場合は（音楽コンテンツと映像コンテンツ）選択画面が表示されます。

操作画面の見かた

オーディオ操作画面

● 曲情報画面

● トラック選択画面

① **曲情報**
アーティスト名/アルバム名/曲名が表示されます。(テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。)

② **イメージファイル**
画像ファイルがあるときに表示されます。(MP3のみ)

③ **フォルダ/トラックインデックス**
再生中の曲の入っているフォルダと全フォルダ数を表示します。または再生中の曲と全トラック数を表示します。

④ **メニュー**
プレイモードの切り替えをします。

⑤ **リスト表示**
フォルダリストやファイルリストを表示します。

⑥ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットが表示されます。(iTunesで作成されたm4aのデータを再生しているときはAACと表示されます。)

⑦ **プレイモード**
プレイモードを表示します。(全リピートのときは表示されません。)

⑧ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

■ リストから選曲する

❶ リスト表示

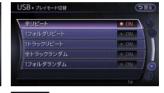
❷ 聞きたい曲を選ぶ

選択した曲が再生されます。

■ プレイモードを切り替える

❶ メニュー

❷ プレイモード切替

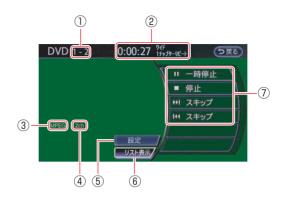
❸ プレイモードを選ぶ

● ON が点灯し、プレイモードが設定されます。

下記のプレイモードを設定することができます。

プレイモード	再生方法
全リピート	すべての曲を繰り返し再生します。
1フォルダリピート	1つのフォルダの全曲を曲順に繰り返し再生します。（フォルダがある場合のみ）
1トラックリピート	1つの曲を繰り返し再生します。
全トラックランダム	すべての曲を自動的に順番を変えて再生します。
1フォルダランダム	1つのフォルダの全曲を自動的に順番を変えて再生します。（MP3/WMA/AACファイルを含むフォルダが複数ある場合のみ）

知識

- USBメモリ内に映像ファイルもある場合は、リスト画面およびメニュー画面に 映像ファイルリストへ が表示されます。映像ファイルリストへ を選ぶと映像操作画面へ切り替えることができます。

映像操作画面の見かた

① **フォルダ/ファイル番号**

② **再生情報表示**
再生時間、画面サイズ情報、プレイモード情報が表示されます。

③ **音声フォーマット**
音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ファイルのサウンドモードを表示します。

⑤ 設定
音声や画質などの設定画面を表示します。

⑥ リスト表示
リストを表示します。

⑦ **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。

● 操作メニュー

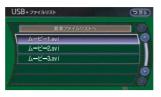
▶再生 ／ II一時停止	フォルダまたはファイルを再生します。 再生されているときは、再生を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。
■停止	再生を停止します。
▶▶Iスキップ	次のフォルダまたはファイルへ進みます。長くタッチすると早送りします。
I◀◀スキップ	1回タッチすると、フォルダまたはファイルの最初に戻ります。2回タッチすると、前へ戻ります。長くタッチすると早戻しします。

知識

- USBメモリ内に音楽ファイルもある場合は、リスト画面および設定画面に 音楽ファイルリストへ が表示されます。音楽ファイルリストへ を選ぶとオーディオ操作画面へ切り替えることができます。

■ リストから映像を選ぶ

❶

❷ 映像を選ぶ

選んだ再生画面が表示されます。

知識

- 視聴回数制限のあるファイルの場合には、最初に残りの使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認してご視聴ください。

■ プレイモードを切り替える

❶

❷

❸ プレイモードを選ぶ

● ON が点灯し、プレイモードが設定されます。

全リピート	すべてのファイルを繰り返し再生します。
1トラックリピート	1つのファイルを繰り返し再生します。

■ 音声や画質などの設定をする

2 項目を選ぶ

音質や画質などは、以下のように設定することができます。

項目	説明
音楽ファイルリストへ	オーディオ画面に切り替わります。 （音楽ファイルがある場合のみ表示されます。）
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。 **プレイモードを切り替える・・・p.4-55**
10キーダイレクト入力	見たいフォルダ、ファイルを指定して再生することができます。 **10キーダイレクト入力で再生をする・・・p.4-86**
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。 **画質の調整をする・・・p.4-90**
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロール（DRC）機能のON/OFFを設定できます。 **ダイナミックレンジコントロールを設定する・・・p.4-89**
音声	ファイルに収録されている音声を切り替えることができます。 **音声を切り替える・・・p.4-90**
字幕	ファイルに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。 **字幕を切り替える・・・p.4-91**
画面設定	ワイド、フル、ノーマル、シネマから選びます。 **画面の縦横比について・・・p.4-76**

イメージビューワー

USBに保存した画像データをディスプレイ画面に表示します。

USBメモリの接続位置は、車種により設置場所が異なります。

USBメモリの接続位置・・・p.12-31

❶ USBメモリを接続する ❷

❸

❹

❺ フォルダを選ぶ

❻ ファイルを選ぶ

（全画面表示）でイメージビュー画面に切り替わります。

操作画面の見かた

① **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。

② （設定）
イメージビューワーの設定画面を表示します。

次ページへつづく ▶

●操作メニュー

▶	スライドショーを開始します。 (次のイメージに変わる時間)で(自動で変わらない)を選択していると再生は選択できません。
■	スライドショーを停止します。
▶▶I	次のファイルへ進みます。
I◀◀	前のファイルへ戻ります。

イメージビューワーを設定する

全画面表示時のイメージ表示設定をします。

 (設定)

 項目を選ぶ

以下を設定することができます。

(次のイメージに変わる時間)	次のイメージに変わる時間を(自動で変わらない)、(5秒)、(10秒)、(30秒)、(60秒)から選択できます。 (自動で変わらない)を選択すると、画像は自動で切り替わりません。
(イメージ表示の順番)	(リスト順)、(ランダム)から選択できます。

知識

- 対応フォーマット：JPEG（拡張子jpg.、jpeg.）
  ただし、プログレッシブJPEG は表示しません。
- 対応ファイルサイズ：2MB 以下
- 対応サイズ：1.536×2.048 ピクセル以下
- デジカメ等の電子機器でUSB ケーブルを使った直接的な接続は使用できません。
- 対応していないフォーマット、サイズのときは右のように表示されます。
- ファイル名が長すぎる場合は省略される場合があります。

Bluetooth® オーディオ

Bluetooth® 通信機能を備えたオーディオ機器や携帯電話を車載機にワイヤレスで接続し、音楽を聞くことができます。

Bluetooth® オーディオについて

- Bluetooth® オーディオ機器は、機種によりご利用できないものがあります。ご利用いただけるBluetooth® オーディオ機器については日産販売会社またはお客様相談室へお問い合わせください。
- Bluetooth® オーディオを使用するには、オーディオ機器の初期登録を行う必要があります。

  Bluetooth® オーディオ機器を初期登録する・・・p.4-60
- Bluetooth® オーディオは接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。ご利用になる前に操作方法の確認を行ってください。
- 以下のときはBluetooth® オーディオの再生は一時停止します。下記動作が終了すると、Bluetooth® オーディオの再生を再開します。
  - カーウイングスによるデータダウンロード中(手動または自動)
  - 交通情報の受信中
  - ハンズフリー通話中
  - 携帯電話の接続確認中
- Bluetooth® 通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されていますので、Bluetooth® オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth® 接続を行うと、通常よりBluetooth® オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth®AVプロファイル(A2DP、AVRCP)に対応しています。

Bluetooth® オーディオ機器を初期登録する

Bluetooth® オーディオを聞くには、Bluetooth® オーディオ機器を本機に登録する必要があります。

アドバイス

- 車内に別のBluetooth®オーディオ機器がある場合は、電源をOFFにしてください。

3 機器登録

5 パスキーを入力し、

Bluetooth® オーディオ機器が登録されます。

登録操作について

以下の画面が表示されたらBluetooth® オーディオ機器で登録操作を行ってください。

操作方法は、Bluetooth® オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

入力したパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルを選び、パスキーの変更を行ってください。Bluetooth® オーディオ機能のある携帯電話機を登録する場合は、メッセージが表示されたら携帯電話機を操作して接続を行ってください。携帯電話機の接続操作は、お使いの携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。
Bluetooth® オーディオ機器の登録が終了するとメッセージが表示されます。

知識

- パスキーとは、Bluetooth®オーディオ機器を本機に登録するためのパスワードです。登録機器のパスキーについては、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth®オーディオ機器は、Bluetooth®携帯電話機と合わせて5台まで登録することができます。すでに5台まで登録してある場合は、登録されているBluetooth®オーディオ機器を1台消去してから登録してください。

オーディオ機器の登録を消去する・・・p.4-66

- ハンズフリーフォンとして登録された携帯電話のオーディオを使用する場合、携帯電話機で使用するサービスを選択する必要があります。詳しくは携帯電話機の操作手順書を参照ください。
- Bluetooth®オーディオ機器を登録すると、自動的に接続するBluetooth®オーディオ機器に設定されます。別の登録機器を使用したい場合は、オーディオ機器の選択を行ってください。

接続するオーディオ機器を切り替える・・・p.4-65

Bluetooth®オーディオを聞く

1 TV・AUX を押す

Bluetooth®オーディオ操作画面が表示されます。
TV・AUX を押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

Bluetooth®オーディオ再生時の注意事項

注意

- 安全のためBluetooth®オーディオ機器の操作は必ず停車中に行ってください。

・ オーディオ機器として登録、選択されていないBluetooth®オーディオ機器をONにしても本機で聞くことはできません。
・ Bluetooth®オーディオ画面表示中にオーディオ機器の電源をOFFにすると、接続が切断され、メッセージが表示されます。再び電源をONにすると自動で接続されますが、接続されない場合は TV・AUX を押し、再度Bluetooth®オーディオを選択してください。
・ 携帯電話の接続確認中（ を押したときなど）は、Bluetooth®オーディオの再生が一時停止します。接続確認が終了すると、オーディオの再生を再開します。
・ オーディオ機器の置き場所や、Bluetooth®無線通信の電波状態によっては、音飛びが発生する場合があります。
・ Bluetooth®の規格バージョンによっては、曲情報などが表示されない場合があります。

Bluetooth®オーディオ操作画面の見かた

① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／曲名が表示されます。（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）

② メニュー
再生方法やプレイモードを選ぶことができます。

③ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

④ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

● 操作メニュー

▶再生	曲を再生します。 曲が再生されているときは、再生を一時停止します。
II一時停止	再生を一時停止します。 再度タッチすると再生を再開します。

知識

- Bluetooth®接続の設定がONのときのみ、操作画面が表示されます。

Bluetooth® 接続をする／しない・・・p.4-64

- 接続するBluetooth®オーディオ機器によっては、再生が開始されるまで、数10秒程度かかることがあります。
- 使用するBluetooth®オーディオ機器の機種によっては、一部の操作メニューが使用できないことがあります。

■ コントロールパネルの操作

TRACK	押すごとに次の曲に変わります。長く押すと、曲を早送りします。
SEEK	押すごとに前の曲に変わります。 演奏中に1回押すと、曲の最初に戻ります。 演奏中に2回押すと、前の曲に戻ります。 長く押すと、曲を早戻しします。

■ プレイモードを切り替える

(メニュー) → (プレイモード切替)を選択すると、プレイモードを選ぶことができます。

以下のプレイモードを設定することができます。

(シャッフル)	自動的に曲順を変えて再生します。シャッフルの設定を(オフ)、(全曲)、(グループ)から選ぶことができます。
(リピート)	曲順に繰り返し再生します。リピートの設定を(オフ)、(1曲)、(全曲)、(グループ)から選ぶことができます。

Bluetooth® オーディオの設定をする

Bluetooth® オーディオを活用するために、いろいろな設定をすることができます。

❷

❸ 項目を選ぶ

Bluetooth® オーディオは以下の設定をすることができます。

Bluetooth で接続	Bluetooth® 接続のする／しないを設定します。 **Bluetooth® 接続をする／しない・・・p.4-64**
機器登録	Bluetooth® オーディオ機器の登録、ユーザ設定をします。 **Bluetooth® オーディオ機器を初期登録する・・・p.4-60**
機器の接続切替・編集・消去	オーディオ機器の選択や名称編集、消去をすることができます。 **接続するオーディオ機器を切り替える・・・p.4-65** **オーディオ機器の名称を変える・・・p.4-65** **オーディオ機器の登録を消去する・・・p.4-66**
車載機の Bluetooth 情報・変更	車載機のパスキーとデバイス名の変更をします。 **車載機の Bluetooth® 情報を見る・・・p.4-66**

Bluetooth® 接続をする／しない

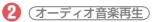
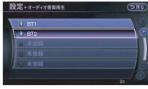
❶

ON が点灯し、Bluetooth® 接続をするように設定されます。

知識

- Bluetooth®接続の設定は、ハンズフリーフォンと共通です。Bluetooth®接続をしない設定にすると、ハンズフリーフォンのBluetooth®接続もできなくなります。

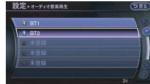
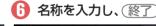
接続するオーディオ機器を切り替える

1 機器の接続切替・編集・消去 **2** オーディオ音楽再生 **3** 機器を選ぶ

4 選択する

使用する機器が切り替わります。

知識

- 表示されるリストには、ハンズフリーフォンとして登録した携帯電話機も表示されます。必ずBluetooth®オーディオ機器として登録した機器を選んでください。

オーディオ機器の名称を変える

1 機器の接続切替・編集・消去 **2** オーディオ音楽再生 **3** 機器を選ぶ

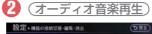
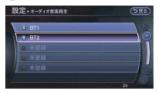
4 編集する **5** デバイス名 **6** 名称を入力し、終了

7 決定

使用する機器の名称が変わります。

さあ、はじめましょう！
ナビ（目的地・ルートガイド）
ナビ（登録・設定）
オーディオ／ビジュアル
後席操作★
電話・データ通信
情報を見る
詳細機能の設定
ナビ連動機能★
音声操作
地図更新
付録さくいん

オーディオ機器の登録を消去する

1. 機器の接続切替・編集・消去
2. オーディオ音楽再生
3. 機器を選ぶ

4. 消去する
5. はい

登録が消去されます。

知識

- ハンズフリーフォンとして登録した機器を消去すると、Bluetooth®通信を用いたハンズフリー機能も使用できなくなります。

車載機の Bluetooth® 情報を見る

1. 車載機のBluetooth情報・変更
2. 項目を選ぶ
3. 決定

車載機のBluetooth® 情報は、以下の項目を確認、修正することができます。

項目	内容
パスキー	車載機のパスキーを変更することができます。
デバイス名	車載機のデバイスの名称を変更することができます。
デバイスアドレス	車載機のデバイスアドレスを表示します。

iPod

お使いのiPodを本機に接続して音楽を聞くことができます。

⚠ 注意

- 安全のため走行中はジャケット写真は表示されません。
  車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

知識

- ナビに接続するiPodやiPodのUSBケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にiPodが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
- 接続するiPodやiPodのUSBケーブルを、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。
- 運転中は、運転者自身によるiPodの接続・操作・取り外しをしないでください。

iPodについて

接続可能なiPod、ソフトのバージョンについては、以下のとおりです。

iPod Classic	Ver.1.1.1～
iPod nano 第4世代	Ver.1.0.2～
iPod nano 第3世代	Ver.1.1～
iPod nano 第2世代	Ver.1.1.3～
iPod nano 第1世代	Ver.1.3.1～
iPod 第5世代／第5.5世代	Ver.1.2.3～
iPod Touch第2世代	Ver.2.1.1
iPod Touch 第1世代	Ver.2.0、2.0.1、2.0.2、2.1.0

動画、静止画表示には対応していません。

・ iPod shuffle、iPod mini、iPod Photo、iPod第3世代、iPod第4世代、iPhoneには対応していません。
・ iPodの動作については全てを保証するものではありません。
・ iPod nanoをご使用の際、オーディオブックの表示位置にオーディオブックが表示されない場合があります。
・ iPodを接続しても操作ができない場合は、iPodを外して時間をおいてから再度接続してください。
・ iPodの接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
・ iPod内のビデオファイルの再生はできません。
・ iPodご使用の際の制約事項につきましては、「iPodの制約事項について」をお読みください。

iPodの制約事項について・・・p.12-51

iPodを本機に接続する

❶ iPodを接続する

iPodのUSBケーブルを車両側のUSBコネクタに接続します。

iPod操作画面が表示されます。

USBケーブルの接続位置は、車種により設置場所が異なります。

USBケーブルの接続位置・・・p.12-31

アドバイス

- 最新のiPodソフトウェアにてお使いください。
- iPodの機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- 写真ファイルが入っているiPodを接続しても、写真ファイルの再生には対応していません。
- iPodやiPodのUSBケーブルを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光のあたらないところに保管してください。
- ジャケット写真に対応した音楽ファイルを再生した場合、iTunesで指定した画像のみが本機に表示されます。

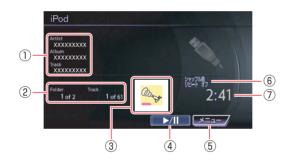
知識

- USBケーブルは、装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。
- 接続すると、iPodからの操作はできません。
- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドホンなどのアクセサリーを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 接続するiPodの取扱説明書も併せてご覧ください。

iPodを聞く

❶ TV・AUX を押す

iPod操作画面が表示されます。
押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。

iPod操作画面の見かた

① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／曲名が表示されます。（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）また、Podcast再生中はアーティスト名の代わりにリリース日を表示します。

② **トラックインデックス**
現在再生中のトラックインデックスと再生曲の含まれる総インデックスを表示します。

③ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

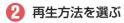
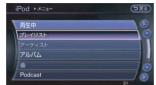
④ **▶/II（再生／一時停止）**
曲を再生または一時停止します。再度選択すると再開します。

⑤ **メニュー**
再生方法やプレイモードを選ぶことができます。
また、前画面が曲リスト画面のときには、選択すると曲リスト画面に戻ります。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。

⑦ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

iPod再生の設定をする

いろいろな選曲方法から曲を探して、再生します。

聞きたい曲を選ぶと、選んだ曲が再生されます。

iPodの再生は、以下の再生方法があります。

再生中	すでにiPodを接続しているときに選択すると、再生が開始されます。
プレイリスト	プレイリストから選曲します。
アーティスト	アーティストのリストから選曲します。
アルバム	アルバムリストから選曲します。
曲	曲名リストから選曲します。
Podcast	Podcastのリストから選曲します。
ジャンル	クラシック、ジャズなどのジャンルリストから選曲します。
作曲者	作曲者のリストから選曲します。
オーディオブック	オーディオブックのリストから選曲します。
曲をシャッフル	iPod内のすべての曲が自動的に順番を変えて再生されます。
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。 プレイモードを切り替える・・・p.4-71

知識

- 操作をしないで2秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。

■ プレイモードを切り替える

❶ プレイモード切替　❷ プレイモードを選ぶ

以下のプレイモードを設定することができます。

シャッフル	自動的に曲順を変えて再生します。 シャッフルの設定をオフ、曲、アルバムから選ぶことができます。
リピート	曲順に繰り返し再生します。 リピートの設定をオフ、1曲、すべてから選ぶことができます。
オーディオブック	オーディオブックの再生速度をやや遅い、標準、やや速いから選ぶことができます。

プレイモードは、シャッフルとリピートを以下のように組み合わせて設定することができます。

シャッフルモード リピートモード	オフ	曲	アルバム
オフ	オフ	シャッフル	アルバム シャッフル
1曲	1曲リピート	1曲リピート	1曲リピート
すべて	全曲リピート	全曲 シャッフル リピート	全アルバム シャッフル リピート